

令和5年12月

只今2学期末考査中です。みんながんばってください。大学入学共通テストは超大型定期考査のようなものです。今ここを必死に頑張ることが進路につながります。Good luck!!

○ 宇部中央高スナップ写真アレコレ

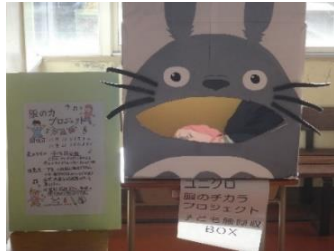
■研究指定校

やまぐち総合教育支援センターの研究指定校として板倉教諭が行った授業の様子です。真剣!!



■服のチカラ・プロジェクト

今年は神原中、神原小、見初小、恩田小学校とも連携しました。

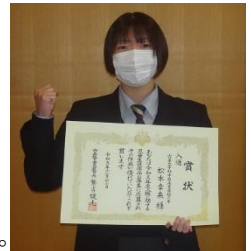


■人権に関する児童生徒作品

高校生の部入選 松本幸来さん



松本さんはタレントの渡辺直美さんが好きで、彼女の自由に前向きな姿をイメージして描いたとのことです。



■弓道部

弓道部主将の中尾心咲さんが中国新人大会に出場。同窓会とPTAからの激励費を渡しました。結果は8射7中で見事3位でした!!!



■学校運営協議会での熟議



スクール・ポリシーについて生徒会と大人が本気で議論しました。

■お〜いお茶新俳句大賞

第34回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞佳作特別賞に大亀純奈さんの作品が選ばれました。国語の授業で、新生活の情景を思い描いて作ったそうです。ライブ配信していた結果発表を見ていてとてもびっくりしたとのことです。

ネクタイやおぼつかない手春の朝



■華道部

毎週金曜日に村田先生のご指導のもと2年生3人で活動をしています。いつも素敵な花を玄関に飾ってくれています。絶部員募集中!!



玄関に飾られた華道部員の生花



■演劇部

宇部警察署と協力し琴芝ふれあいセンターで行った「うそ電話詐欺啓発劇」がyabで放送されました!!



■生徒会の挨拶運動

挨拶はコミュニケーションの入り口です。「先手必勝」よりも「先手必笑」で(笑)。



<アサーション>後編

アサーション・トレーニングの発祥の地はアメリカです。1950年代に行動療法（心理療法）の中で開発され、対人関係に悩んでいる人に対するカウンセリングの一方法として実施され始めました。1970年代に入って、人種差別撤廃運動の中で非暴力活動を主張していた人（キング牧師など）や、女性差別の犠牲者となっていた女性、フェミニストのカウンセラーたちに注目されました。被差別者・被抑圧者の人権回復と自己信頼の獲得に、そして自己主張をしてこなかった人々の自己表現の方法として役立つことが見直され、認められることになりました。差別されていた黒人たちが、攻撃的にならずにしかも強力に自己主張する方法を知り、人権回復の機会が与えられ始めたのです。

つまり、アサーションは、単にうまくいかない自己表現や対人関係のための個人的な治療法というだけでなく、広く人権の視点から、人間の尊厳や平等に対する考え方として、また、差別などの人権問題に関わるときの有効な対応法として認識されていったのです。黒人も白人と同じ権利を持っていいという主張は、白人を否定するものでもなく、あなたもOK、私もOKの主張です。それは、人はみな、誰かに強要されたり、抑圧されたりすることなく、自分の考えや感じ方を率直に表現してもいいということです。

その後、アサーションは職場でも注目されました。自他尊重の自己表現が活発で、自由なやり取りができる職場では、従業員の精神的健康度が高く、互いに自発性や創造性が刺激されて良いアイデアや活発な動きが出ることがわかったからだといわれています。

次に、カウンセラーや医療・看護職、社会福祉職の人々がとりいれ、学校でも、いじめ・暴力・相互の助け合いの欠如、話し合いのスキルの向上などに対してアサーションがとりいれられてきました。児童生徒が、「自分の考えや欲求、気持ちは大事にしていいのだ、それは誰もがもっている権利なんだ」ということに気付くこと。また、他者との葛藤は、いけないことではなく、それらの解決に向けて自分たちにできることを探していけばよいのだということに気付くこと。さらに、自己犠牲的な配慮や「おもいやり」でなく、他者否定的な実力主義でもなく、さらに、他者も自分も傷つけない「やさしさ」とも違う、自分自身の内面の声も大切にしながら、他者とつながり、共存する可能性を示していること、などによります。

今後、より複雑化、多様化していく社会の中で、アサーションは、単に自己表現の方法としてだけでなく、人間の「不完全さ」と「違い」を認める人間尊重の在り方としてもますます重視されていくと思います。

○ 校庭紹介（12月）



祝弓道選抜大会出場の懸
垂幕が掲げられました。



昇降口前庭。剪定されたも
みじやツゲが綺麗です。